

安城市が実施している事務事業（公共サービス）について、予算削減ありきではなく、事業の必要性や事業手法が適切かどうかを市民とともに考えるために、事業仕分けを実施します。

注1 事業仕分け委員会とは？
公募市民を含む市で選出した者と構想日本で構成し、事業仕分けの対象事業の選定と市の方針案の妥当性を審議するための委員会です。

事業選定のポイント！
市民投票など全ての市民が事業選定に関わることができます。



I 事業選定

【1 選定基準による抽出】

全事務事業（約 800 事業）から、選定基準（事業の継続性や予算規模等）により 200 事業程度を抽出します。（3 月）

【2 市民による選定】

① 選定基準により抽出された事業から、「事業仕分け委員会^{注1}」（以下、委員会）で 50 事業を選定します。（5/11：第 1 回事業仕分け委員会）

② 市民が、委員会で選定された 50 事業の中から、市ウェブサイト及び公民館等で対象事業を投票します。（5/22～31）

③ 市民投票結果を参考に、一般公開の下、委員会で仕分け対象 12 事業程度を選定します。（6/19：第 2 回事業仕分け委員会）

【3 市による選定】

選定基準により抽出された事業から、市として外部の視点で意見を聞く必要があると考えられる 12 事業程度を選定します。（4 月）

【4 対象事業の決定】

委員会及び市が選定する合計 24 事業を対象事業とします。（6 月中旬）

II 事前準備

【1 市民判定人の募集】（5 月中旬）

- ・ 18 歳以上の市民から無作為で抽出された 2,000 人に対して市民判定人を 80 人程度募集します。

【2 模擬仕分け】（7 月）

- ① 仕分け人、市民判定人、市職員を対象に事業仕分けの概要、調書のポイントなどについての研修を行います。
- ② 研修内容を踏まえて、本番同様に模擬仕分けを行います。

【3 仕分け人等研修会】（7 月）

- ・ 仕分け人を対象に、対象事業の論点整理・関連施設の見学を行います。
- ・ 市民判定人を対象に、関連施設の見学を行います。

事前準備のポイント！

効果的な事業仕分けの議論を行うために、事前研修会や模擬仕分けを行います。



IV 事業仕分け後

【市の対応方針策定】

- ① 担当課にて、仕分け結果を受けて市の対応方針案を策定します。（7 月～8 月）
- ② 委員会にて市の方針案の妥当性を審議して、「意見書」としてまとめます。（9 月：第 3 回事業仕分け委員会）
- ③ 委員会から市長へ「意見書」を提出します。（10 月：第 4 回事業仕分け委員会）
- ④ 市の対応方針を公表します。（11 月）

仕分け後のポイント！

市の対応方針や予算への反映結果など、全てを公表し、市民にお知らせします



仕分けのポイント！

市民目線で仕分けを行います。どなたでも、自由に傍聴できます。



III 事業仕分け実施 7 月 21 日（土）・22 日（日）

【1 会場】 文化センター大会議室・展示室

【2 事業数】 24 事業（1 日 6 事業×2 会場×2 日間）

【3 仕分けに参加する人】

- ① コーディネーター：1 チーム 1 名×2 チーム
- ② 仕分け人：1 チーム 5 名×2 チーム
- ③ 市民判定人：1 会場 20 人程度×2 会場

【4 仕分け時間】 1 事業あたり 45 分

- ① 担当課による事業説明（5 分）
- ② 仕分け人による質疑応答・議論（30 分）
- ③ 仕分け判定及び判定結果発表（5 分）
- ④ 市民判定人の意見発表・コーディネーター講評（5 分）

【仕分け人に参加する人の内訳（1 チーム）など】

- ① コーディネーター（仕分け全体の進行管理をします）※構想日本から 1 名選出
- ② 仕分け人（客観的な視点から事業についての意見・質問などをします）※・公募を含む市で選出した者 4 名、構想日本から 1 名の計 5 名
- ③ 市民判定人（仕分けの議論を聴き、事業の要・不要などを市民目線で判定をします）